

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

かつてわが国のプロスポーツは、現在のように世界的に注目を集めるまで育っていませんでした。しかし、近年日本のプロ野球選手がアメリカのメジャーリーグに移籍して活躍し、さらにJリーグなどでプレーした日本人選手がヨーロッパのプロサッカーリーグで活躍するなど、日本のプロスポーツも世界的に注目されるようになってきました。そこで、本演習では「スポーツビジネスを考える」を統一テーマに、各自が設定した研究テーマで卒業レポートを作成します。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。最終的には、各自が作成した卒業レポートの発表をしてもらいます。実施方法の詳細については、初回授業で案内します。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、授業の進め方等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	卒業研究テーマの設定	各自が卒業研究(卒業レポート)のテーマを設定する。	<input type="checkbox"/>
第3回	文献・資料・データ収集	卒業研究(卒業レポート)に関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第4回	文献・資料・データ収集	卒業研究(卒業レポート)に関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	文献・資料・データ収集	卒業研究(卒業レポート)に関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第7回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第8回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第9回	文献・資料・データの分析・考察	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第10回	文献・資料・データの分析・考察	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第11回	文献・資料・データの分析・考察	収集した文献・資料・データを分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第12回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第13回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第14回	進捗状況報告	卒業研究(卒業レポート)の進捗状況を順番で中間報告を行い、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第15回	総括	前期の授業を総括する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習(予習)として、文献・資料・データ収集などの調べ学習をする(毎回2時間程度)。また事後学習(復習)として、前回の授業の振り返りをする(毎回2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題・卒業レポート(レジュメ)や報告については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	スポーツビジネスを社会全体との関連で幅広く考察し、今後のスポーツビジネスのあり方などについて、他者に自分の考えを発信することができる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	スポーツビジネスに関する様々な問題点を解決するなど、主体的に他者と協働して地域社会の活性化・発展に貢献できる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			30%	70%
<b>授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents)</b> 成績評価については、提出された課題、卒業レポート (レジュメ) の完成度、中間報告の内容をもって総合評価します。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	石川幸生・杉谷正次編著『現代スポーツビジネス』三恵社	
2	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	
3		
4		
5		